

あいさつの力は偉大です

「おはようございます。」

朝、校門前に立っていると、子どもたちが気持ちの良いあいさつをしてくれます。横断歩道を渡りきると、必ず「ありがとうございます。」とお礼も言ってくれます。バスに乗っている子は、バスの中から手を振ってくれます。毎日、子どもたちの元気の良いあいさつの声を聞くと、とてもうれしくなります。

あいさつの声は、その日の体調のバロメーター。あいさつの声が元気いっぱいの際は、学習にも意欲的に取り組んでいます。いろんな活動に楽しんで参加しています。だから、たまに元気がない声が返ってくるととても心配になります。体調が悪かったり、何か不安なことがあったり・・・。

そして体調が戻ると、あいさつの声も元気な声に戻ります。やっぱり元気なあいさつができるってすごい！！

子どもたちは1日の長い時間を学校で過ごします。毎日、元気いっぱいに過ごせるよう、ご家庭でもお子様の体調に気をつけてあげてください。



中学年 環境学習

5月31日（水）、中学年が環境学習に取り組みました。

足摺海洋館の方にきていただき、まずは「プールにいる生き物を救いだそう。」をめあてに、プールにいる小さな生き物を網で捕まえる活動をしました。たくさんいる小さな生き物に子どもたちは夢中になっていました。

プールでの活動の後は座学。水生昆虫とは？両生類とは？ゲンゴロウの仲間や自分たちが捕まえた生き物のことを教えてくださいました。実際にプールで捕まえた生き物をきれいな水の中に移しかえてくれたので、観察もしやすく、みんな群がって夢中で観察していました。



活動の翌日の登校時に、4年生の女の子が「水路にオタマジャクシがいっぱいおる！」と教えてくださいました。これまで以上に生き物に興味を持ってくれたのかもしれないね。小さな生き物もたくさん見られる三崎の自然を大切にしていきたいです。

高学年 海の学習

6月1日（木）は、高学年の海の学習。
環境省の方と海辺の生き物自然史研究舎の方から海の生物などについて詳しく話を聴きました。

「珊瑚って何なんだろう？」「珊瑚は何を食べる？」「珊瑚の寿命は？」

1つ教えてくださるたびに、「えー！?」「すごっ!!」「あー！」と、子どもたちから素直な反応が。それだけ興味を持って聴いていたのではないかと思います。

海の中に広がる珊瑚礁の美しい映像や、実際にこの地域でとれた貝などに触れ、自分たちの住んでいる地域の海・風景の美しさを改めて感じられた時間になったことだと思います。

講師の方が「三崎、竜串の海は日本一。」と話してくれたことがとても印象的でした。この大切な自然を子どもたちも大切に感じてくれるのではないのでしょうか。



赤珊瑚の大きいものはすごく値段が高いと聞き、手にしていた珊瑚を優しくなでていました。気持ちわかります！

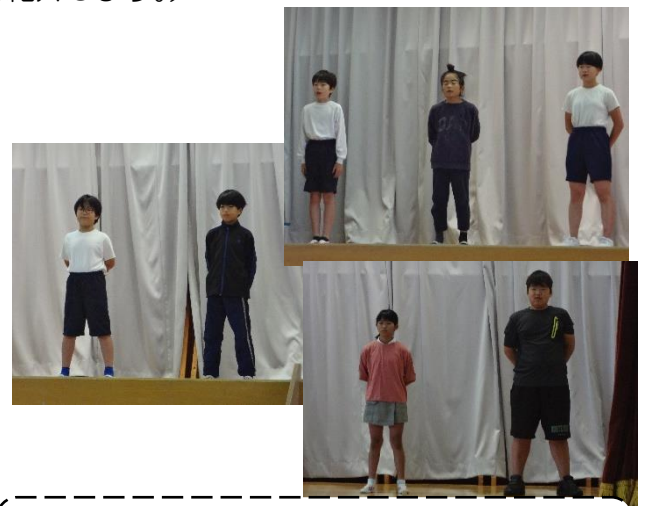
5・6年生の発表朝会より

今年度も「伝える力・表現する力」を養うことを目標とし、発表朝会を行っています。6月1日（木）の6年生、8日（木）に5年生の音読発表が行われました。両学年とも凛とした声で、堂々と発表ができました。何事も自信がないと声が小さくなります。大きな声で堂々と発表できるのは何度も何度も繰り返し練習しているからこそだと思います。何事にも、「一生懸命」「努力」「練習」することでいろんなことに自信ができていきます。そして、りっぱに発表できると、またそれが自信につながります。一人が発表するのはほんの少しですが、それでもやりきった達成感を味わって次へのステップにつなげてほしいです。（次号で他の学年の様子も紹介します。）



6年生は、詩『生きる』の暗唱 と 詩の感想

- 自分の命を大切にしてほしいと伝えてくれている。
- 生きていたらいろんなことをしていくことができる伝えてくれている。
- 生きる意味はたくさんあるんだよと言ってくれている。
- 生きるということは、何かを感じたり見たり聞いたりすることなんだと伝えてくれている。



5年生は、物語文『だいじょうぶ だいじょうぶ』と 詩『ぼくらのもの』の暗唱